

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表			
事業所名	てらびあぼけつと熊谷教室		
公表日	2026年	3月	20日
利用児童数	16名	回収数	13名

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	0	0	0		・安全面を考慮しながら、できるだけ子どもたちが広くスペースを使えるよう環境作りを行ってまいります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	10	0	1	2	・OTやSTの職員がいるととっても良いと思う	・法令で必要とされている配置数に加え、常勤の職員を増やせるよう目指してまいります。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	0	0	0		・今後も分かりやすく、安全に配慮した環境設定を行ってまいります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13	0	0	0		・1クール終了毎に、換気、掃除、消毒を行っており、子どもたちが清潔に過ごせるよう配慮しています。
適切 な 支 援 の 提 供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	0	0	0		・児発管を中心に、一人一人の特性に目を向け、必要な支援を行っております。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	0	0	0		・今後も継続してまいります。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13	0	0	0		・お子様、保護者様に寄り添うことで、ニーズや課題を正しく理解し、作成しております。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	0		・今後も継続してまいります。
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13	0	0	0		・職員は正しく情報を共有し、支援計画に沿った支援を行っております。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	0	0	1	・いつも違う工作を持ち帰ってくるので工夫してくれていると思う	・保護者さまに分かりやすくお伝えできるよう努めてまいります。
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	9	2	1	1	・特に交流は無い。 ・通い始めたばかりで分からない ・今後希望している	・交流会は行っておりません。
保 護 者 へ の 説 明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13	0	0	0		・今後も継続してまいります。
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13	0	0	0		・今後も継続してまいります。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	7	4	0	2	・家族支援プログラムは受けていない。あるのかよく分からない。 ・研修会などには参加したことがないので機会があれば参加してみたいです。	・家族支援プログラムについて、周知には至っておりません。今後の課題の一つとして、力を入れてまいります。
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	13	0	0	0		・今後も継続してまいります。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	0	0	2	・まだ通い始めたばかりで分からない	・支援計画更新時の定期的な面談以外にも、気軽に相談できる環境や体制づくりに努めてまいります。 ・送迎時は混雑してしまうことが多いため、お声がけをして、改めてゆっくりお話ができる時間を設けられるようしてまいります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	0	0	0		・今後も継続してまいります。
18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	7	3	2	1	・父母会や保護者同士・兄弟同士の交流などは特に無いため不明。 ・短時間なので、あまりそういった機会はないですが、特に（うちは）必要もないかと思っています。	・ご希望が多いようでしたら検討したいと思います。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	12	0	1	0		・相談や申し入れには迅速かつ適切に対応するよう心がけておりますが、どの保護者様にも気軽に話頂けるよう周知に努めます。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	0	0	0		・今後も継続してまいります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	11	2	0	0		・活動概要や行事については、定期的にSNSやブログ・通信を通じて発信させて頂いています。自己評価につきましては、ホームページ上に公表させて頂いております。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	12	0	0	1		・個人情報に記載された書類は鍵付きの棚に保管しております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	10	1	0	2		・今後も訓練やマニュアルの説明や周知に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	9	2	0	2		・避難訓練を年に2回行い、都度、通信にてご報告させて頂いております。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	0	0	1		・保護者様には契約時に、必ず、避難場所のご案内や、災害時の対応について説明させて頂いております。今後も定期的に訓練等を行い、お子様の安全を最優先に努めてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12	0	0	1		・怪我等があった場合は、速やかに保護者様にご報告させて頂いております。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	13	0	0	0	・いつも楽しそうに通っています。	・これからも、お子様が楽しく通って頂けるよう、心がけてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	13	0	0	0	・親子で通所の日を楽しみにしています。	・一人一人のお子様の特性に配慮し、お子様が、負担なく過ごせるよう心がけて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	0	0	0	てらびあさんに通わせることが出来て大満足です。	・ありがとうございます。今後もお子様にとって安心して楽しく通える教室作りに努めてまいります。

事業所における自己評価結果

公表		事業所における自己評価結果				
事業所名		てらびあぼけつと熊谷教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・小集団での活動時は不要なものは片づけるようにしている。	・今後も継続していきます
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・法令で必要とされている人員を配置している	・利用者が増加しているため、求人を積極的に行っていきたい
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4		・段差のないフラットな床である	・今後も継続していきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・毎クール終了時に、掃除、消毒を行っている	・今後も継続していきます
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・クールダウンが必要なときや、子どもとの話し合いの際、利用できるようにしている	・今後も継続していきます
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		・毎日、お子様を迎える前の時間で、打ち合わせを行っている	・今後も継続していきます
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・アンケートの集計結果を全員で共有し、改善に向けて話し合っている。	・今後も継続していきます
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・職員同士が意見を出しやすい環境ができています	・今後も継続していきます
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		・外部評価は行っていませんが、本部によるアドバイスを頂いている	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・研修には積極的に参加するようにしている	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4			・今後も継続していきます
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		・保護者との面談からニーズを正確に聞き取り、アセスメントを実施している	・今後も継続していきます
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・職員が情報を共有した上で検討している。	・今後も継続していきます
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・支援計画に常に目を通すようにしている	・今後も継続していきます
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・行動分析シートを活用し、子どもの行動を把握している	・今後も継続していきます
	16	児童発達支援計画には、「児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4		・5領域を取り入れ、子どもの実態を把握するようにしている。	・今後も継続していきます
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		・カンファレンスで話し合いを行っている	・今後も継続していきます
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		・子どもの様子を見ながら、必要な支援を行っている	・今後も継続していきます
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		・小集団での活動と、個別支援を基本として行っている	・今後も継続していきます
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			

関係機関や保護者との連携	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4			
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	2		
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4			
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4			
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4			
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4			
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4			
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	2	2		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4			
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			
非常時等の対応	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		4		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4			
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4			
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4				
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	4				

事業所における自己評価総括表				
公表				
○事業所名	てらびあぼけつと熊谷教室			
○保護者評価実施期間	令和8年 2月 17日		～	令和8年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15名	(回答者数)	13名
○従業者評価実施期間	令和8年 2月 17日		～	令和8年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 3月 14日			
○分析結果				
	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等		さらに充実を図るための取組等
1	お子様の特性に配慮した、適切な支援を行っている。	職員が抱え込まず、チームとして支援に向かえるよう職員間のコミュニケーションを大切にしている。		研修等に積極的に参加し、職員の専門性を高めていきたい。
2	外部との連携	園訪問や、他事業所、相談支援事業所とのモニタリングを行っている。		園や他事業所と情報を共有することで、共通した支援が行えるようにしていきたい。
3	保護者の方のお話に寄り添い、丁寧に聞くことで、ひとつひとつ、問題を解決していくよう心がけている。	保護者からの相談には、即時対応し、カンファレンスを行い、保護者の方のニーズやお子様の状況を職員間で共有している。		都合上、中々時間が取れない保護者様も多数いらっしゃることから、相談の窓口を広げていきたい
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等		改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会を実施できない	日常的な支援業務を優先しているため、機会を設けることが難しい		
2				
3				